

食碗 高さ二寸三分、さし渡四寸五分半、板二寸一分半、ふかさ一分八厘、

同蓋 高さ一寸六分半、さし渡三寸九分半、かう臺二分半、同廣二分半、厚六厘、

汁碗 高さ一寸九分、さし渡四寸一分半、板一寸九分、ふかさ壹分半、

同蓋 高さ一寸三分半、さし渡三寸七分半、かう臺貳分、同廣一寸三分半、厚六厘、

右内外真黒花塗なり

〔教草女房形氣十五上〕第二回

叔母へ馳走の晝飯の膳、下女が持出たるは、野代の會席膳に黒の丸碗○下

〔和漢文操賦〕雪見賦

麴乙子

日野が嶽には反碗の名ありて、我とおもはむ者あらば、此盃まいりさふと○下

〔和漢文操説〕搔餅説

陳素六

そののち頼家の御時には、ひたぶるに公家衆のまじらひより、よろづに風流をこのませ給ひ、皆朱のそり碗も、法事めきたりとて、花もよし野の菓子碗などにほしひらめ、くぼかなる所に例のあづきを置たれば、花のかたちに似たるより、牡丹餅とはいへりとぞ、

〔紀伊國名所圖會那賀郡〕そり碗にうれしき花の旅寢哉

松居

〔毛吹草三〕陸奥 薄碗

○按ズルニ、薄碗ハ形狀ノ薄キヨリ云フ、會津ニ於テ製スル者尤モ著名ナリ、會津ニ於テハ、南部碗ヲ摸倣セシモノアリ、又抹金ノ描畫ヲ施シタルモノアリ、世ニ蒲生氏郷命ジテ作ラシム、故ニ氏郷碗ト稱スト云ヘリ、

〔日本鹿子八〕同國○陸奥 中名物出所之部

薄碗